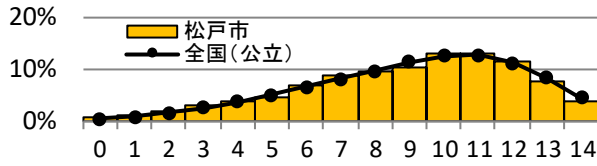


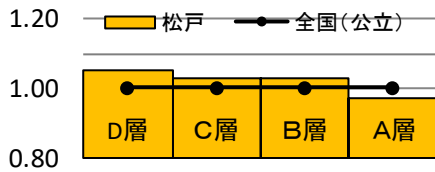
令和3年度全国学力・学習状況調査 松戸市の学力状況【小学校】国語・算数

正答数と4つの学力層の分布

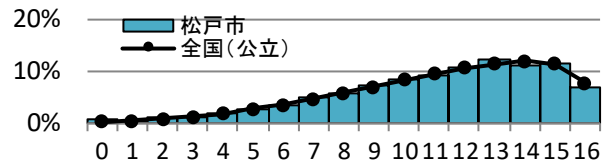
小学校 国語



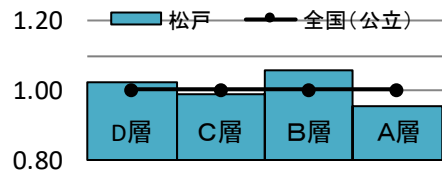
層	D層	C層	B層	A層
	0問～6問	7問～8問	9問～10問	11問～14問
松戸市	22.0 %	18.4 %	26.1 %	36.1 %
全国(公立)	20.9 %	17.9 %	25.4 %	37.1 %



小学校 算数



層	D層	C層	B層	A層
	0問～8問	9問～11問	12問～13問	14問～16問
松戸市	22.1 %	24.8 %	23.3 %	29.8 %
全国(公立)	21.6 %	25.1 %	22.1 %	31.3 %



【傾向と課題】

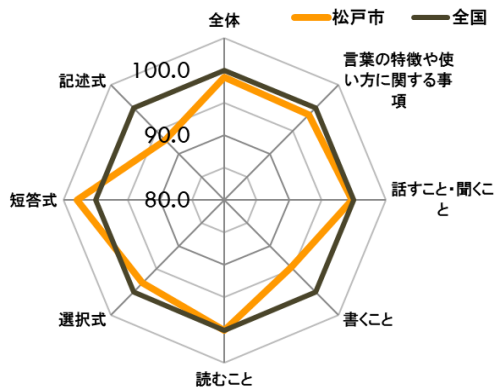
「正答数」について、国語、算数ともに、おおむね全国と同程度の分布状況です。
「4つの学力層」について、全国と比較して国語、数学ともにA層が低く、D層の割合が高いのが課題です。

3年間の推移（全国平均を100とした指数）

標準化得点	国語A	国語B	算数A	算数B
平成30年度	100	99	99	99
令和元年度	99		99	
令和3年度	99		100	
全国(国公私)	100		100	

※令和元年度より国語A、B及び算数A、Bがそれぞれ国語、算数となって出題されています。

教科についての傾向と課題（各区分の全国の平均正答率を100とした場合の相対値を示す）



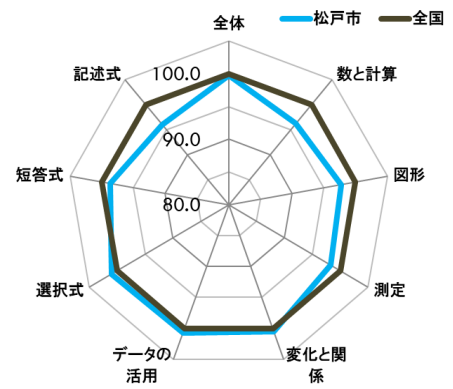
小学校 国語

【傾向と課題】

領域では「読むこと」以外、全国を下回っています。特に「書くこと」が低く、課題が見られます。問題形式では「記述式」に課題が見られます。

【改善のポイント】

自分の考えが伝わるように書くためには、目的や意図に応じて、詳しく書くか、簡単に書いた方が効果的かを、自ら判断して書くことが重要です。その上で、事実と感想・意見を区別して書き、自分の考えとそれを支える理由や事例の関係性が明確かを確かめて、自分の考えを深めることができるように指導することが効果的です。



小学校 算数

【傾向と課題】

領域では「数と計算」「図形」「測定」で全国を下回り課題が見られます。問題形式では「記述式」「短文式」が全国を下回り課題が見られます。

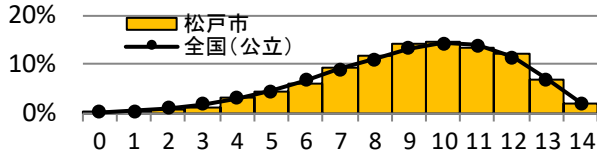
【改善のポイント】

「記述式」の問題については、答えを導く過程について算数用語を適切に用いて表現することが大切です。「数と計算」の領域では、基礎的な計算力を確実に身につけさせようとして、具体的な場面に対応させながら、事柄や関係を式に表せるようにすることが大切です。「図形」の領域では、図形を構成する要素などに着目して捉え、図形の計量について筋道を立てて説明できるようにすることが重要です。

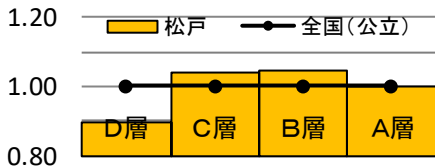
令和3年度全国学力・学習状況調査 松戸市の学力状況【中学校】国語・数学

正答数と4つの学力層の分布

中学校 国語



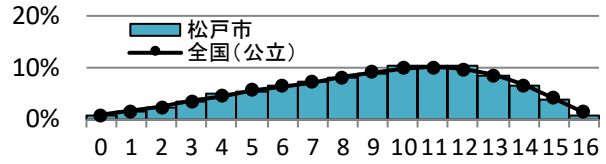
層	D層	C層	B層	A層
	0問～6問	7問～8問	9問～10問	11問～14問
松戸市	16.4%	20.7%	28.6%	34.4%
全国(公立)	18.3%	19.9%	27.4%	34.4%



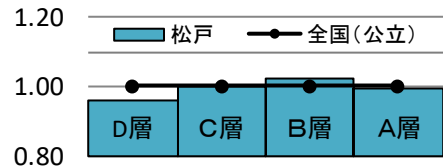
【傾向と課題】

「正答数」について、国語、数学ともに、全国と同程度の分布状況です。
 「4つの学力層」について、国語、数学ともにD層の割合が低く、B層の割合が高い。

中学校 数学



層	D層	C層	B層	A層
	0問～5問	6問～9問	10問～11問	12問～16問
松戸市	17.9%	31.1%	20.5%	30.4%
全国(公立)	18.6%	31.1%	20.0%	30.5%

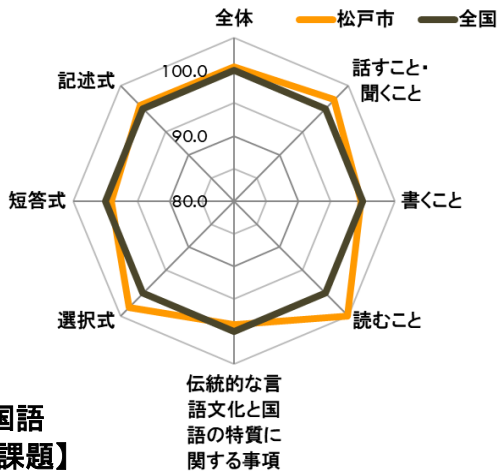


3年間の推移（全国平均を100とした指数）

標準化得点	国語A	国語B	数学A	数学B
平成30年度	100	100	99	99
令和元年度	100		100	
令和3年度	100		100	
全国(国公私)	100		100	

※令和元年度より国語A、B及び数学A、Bがそれぞれ国語、数学となって出題されています。

教科についての傾向と課題（各区分の全国の平均正答率を100とした場合の相対値を示す）



中学校 国語

【傾向と課題】

領域では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国を上回っています。

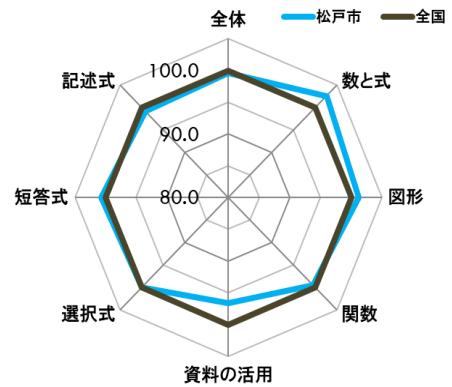
問題形式では「短答式」がやや低く課題がみられます。

【改善のポイント】

相手や場に応じた言葉遣いについて理解し、適切に使う力を身につけるために、敬語に関する個々の体験的な知識を整理して体系付けるとともに、人間関係の形成や維持における敬語の持つ働きを理解するように指導することが重要です。

また、話や文章の中で、相手や場に応じた語句を選んで用いることに留意するよう指導する必要があります。

「書くこと」については、読み手の立場で、自分が書いた文章を整える力を身につけるために、目的や意図に応じた表現になっているかを確認することについて指導することが効果的です。



中学校 数学

【傾向と課題】

領域では、「関数」と「資料の活用」が全国を下回り課題が見られます。

問題形式では、「記述式」が全国をわずかに下回りました。

【改善のポイント】

「関数」の領域では、具体的な事象の中から関数関係を見いだすことや、与えられた表やグラフから必要な情報を適切に読みとれるようにすることが大切です。

「資料の活用」の領域では、事象を数学的に解釈し、その根拠を数学的な表現を用いて説明させることが大切です。数学的な表現については、用語の意味を十分に理解させることが効果的です。

令和3年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙と学力の関係

児童生徒質問紙から

以下の回答をしている児童生徒は、教科の平均正答率が高い傾向が見られます。

国語、算数／数学などの授業では・・・

- 小 中 国語、算数／数学の勉強が好き
- 小 中 国語、算数／数学の勉強は大切だと思う
- 小 中 国語、算数／数学の授業の内容がよく分かる
- 小 中 国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしている
- 小 中 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている
- 小 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫したりして書いている
- 中 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしている
- 小 国語の授業では目的に応じて文書を読み、感想や考えを持ったり、自分の考えを広げたりしている
- 中 国語の授業では目的に応じて文書を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしている
- 小 中 算数／数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える
- 小 中 算数／数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解しようとしている
- 小 中 算数／数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている
- 小 中 算数／数学の授業で学習したことを生活の中で活用できないか考えている
- 小 中 今までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している
- 小 中 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる
- 小 中 学習した内容について、分かった点やよくわからなかった点を見直し次につなげることができている
- 小 中 今までに受けた授業で、学級の友人（生徒）との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して相手の考えを最後まで聞き、友人の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えている

日常生活の中では・・・

- 小 中 自分でやると決めたことは、やり遂げようとしている
- 小 中 新聞を読んでいる（週に1～3日以上）
- 小 中 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができている
- 小 中 自分と違う意見について考えるのを楽しんでいる
- 小 中 自分で計画を立てて勉強をしている
- 小 中 学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている
- 小 中 朝食を毎日食べている
- 小 中 学校の授業時間以外に、普段（土日も含む）勉強する時間が長い（学習塾等を含む）
- 小 中 毎日同じ時刻に起きている
- 小 中 テレビゲーム（携帯ゲーム、スマートフォンのゲーム等）の時間が短い

学力向上に向けて

学校では

- ◆学習規律（私語をしない、話し手の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守る、忘れ物をしないなど）の確立に努める
- ◆児童生徒が自ら「学習したい」「知りたい」と意欲がわく、導入などでの内容の工夫・改善をする
- ◆授業においては児童生徒自身で学習課題を作り、協働しながら課題解決に向かうよう工夫する
- ◆「学習した内容」と「普段の生活や将来」を結びつけた、まとめや振り返りの活動を取り入れる
- ◆話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるような指導を工夫する
- ◆授業では次のような場面を設定し、言語活用科の学習で身につけたスキルを活用できるようにする
 - ・自分の考えを書いたり、発表したりする場面
 - ・理由や根拠を説明する場面
 - ・相手の考えを最後まで聞き、思考を整理する場面
- ◆問題を解き方がわからなくても、最後まで諦めず、いろいろな方法を考えるよう指導する
- ◆家庭学習の充実に向けて、家庭との連携を図る（e-ライブラリ等の家庭学習ツールを活用する）
- ◆実態を捉えた研修の充実を図る
- ◆児童生徒が達成したことや達成するために努力したことを称賛する
- ◆家庭・地域などの人材を活用する
- ◆教科等横断的な視点での授業改善を行う
- ◆ICT（動画やデジタル教科書等）を活用した分かりやすい授業を実践する

家庭では

- ◆朝食を食べることや決まった時間に寝起きすることなど生活習慣を身につける
- ◆学校の授業時間以外に勉強する時間を確保する
- ◆計画を立てて、宿題や授業の復習をする
- ◆携帯電話・スマホ、テレビ、ゲーム等の時間を調節できるよう約束を決める
- ◆本や新聞を読む習慣をつける
- ◆家族で学校での出来事、ニュースや地域の出来事を話題にする

教育委員会では

- ◆学校における学力向上を目指した取り組みを積極的に支援する
- ◆教員の指導力向上を目指した効果的な研修を実施する
- ◆言語活用科を軸とした学習システムを構築し、教科の学習に活用が図られるようにする
- ◆全国学力・学習状況調査の分析結果を情報提供し、各学校における実態分析や指導改善を推進する